

国際ロータリー会長  
ジョン ケニー  
地区ガバナー  
植木 康之  
三条北RC会長  
石川 勝行  
幹事  
早川 瀧雄  
SAA  
岡田 健



# 三条北ロータリークラブ週報

例会日 2009. 9. 12 累計 No.1100 当年 No.11

例会日: 火曜日 12:30 ~ 13:30  
例会場: 三条ロイヤルホテル TEL 34-8111 FAX 34-8114  
事務局: 三条市本町 3-5-25 三条ロイヤルホテル内  
TEL 0256-35-7160 FAX 0256-35-7488  
ホームページ: <http://www.sanjo-nrc.org>  
メールアドレス: [north@sanjo-nrc.org](mailto:north@sanjo-nrc.org)

本日の出席: 68名中52名  
(内記帳12名)

先々週の出席率:  
69名中54名 78. 26%  
(前年同期70. 59%)

本日の行事:  
「第 2560 地区第 4 分区 IM」

登録数 11RC 239名  
会場 三条中央公民館

## 歓迎のご挨拶

石川勝行会長



第4分区のロータリアンの皆様、三条北ロータリークラブ主催のIMによるこそおいで下さいました。第4分区IMホストクラブを代表しまして、心より歓迎申し上げます。

ご承知のように、ロータリーは1905年ポール・ハリスが三人の友人と経済恐慌で人心の荒れずさんでいたアメリカ社会、特にシカゴの状態を憂い、会合を開いたのが誕生であります。

この原点を考え、私どもはIMのテーマを「今こそロータリーの原点を思い起こそう」、フォーラムテーマを「ロータリーと職業奉仕」としました。3名の会員にフォーラム講演「ロータリーと企業経営」を、パネルディスカッションは「ロータリーの理念と企業経営を考える」を行います。

その後、皆様は別の懇親会会場（大会場でなく少人数単位の6会場）に移動します。懇親会テーマは「一人でも多くのロータリアンと語り、友情を育もう」であります。

特に、上記の二部構成で開催しますが、山中正IM実行委員長を中心に検討した結果であります。従来のIMの既存の開催概念を変えたものと我々は自信をもっています。是非、本日のIMで本音で語り、思いやりの心で、友情を深めましょう。ロータリークラブに入って良かったと。

今回のIMがロータリーの原点価値を見出す契機となることを祈念し、歓迎の挨拶とさせていただきます。

13:30 開会点鐘

14:00～フォーラム

《講演》ロータリーと企業経営

- ・(株)三條機械製作所 池田 英夫様
- ・(株)わか竹 塚野一二三様
- ・嵐陽会三之町病院 山本 賢会員

《パネルディスカッション》

ロータリーの理念と企業経営を考える

17:00 閉会点鐘

17:30～懇親会 一人でも多くのロータリアンと語り、  
友情を育もう！

【会場】三条ロイヤルホテル・リズ

松木屋・レオナ  
二洲楼・餞心亭 おゝ乃

先週のメイクアップ:(敬称略)

9月 9日三条RCへ

米山忠俊

10日三条東RCへ

米山忠俊

12日親睦活動委員会

岡田大介、横田加代子

阿部勝子、外山裕一

本間重満、渋谷義徳

新田あみ、石川一昭

吉田文彦



9 : 3 0 ~ 事前準備開始



ソングリーダー  
石川一昭会員

1 3 : 3 0 開会点鐘

「ロータリーと企業経営」



池田英夫様

塚野一二三様

山本 賢会員

「ロータリーの理念と企業を考える」



ゼネラルリーダー講評



次期 I M開催クラブ挨拶



閉会挨拶



小雨の中、各懇親会場へ移動



米山AG・山中実行委員長・高森懇親会担当副実行委員長は各懇親会場を回り親睦を深めました。





それぞれの会場で親睦を深めることができ、6会場の「手に手」は大きな輪になった様です。  
懇親会も岡田委員長始め親睦委員の皆さんのお陰で無事終了。

**皆さん大変お疲れ様でした。**

『IM』開催を終了して

IM実行委員長 山中 正

### 会員の皆様、お一人、お一人に感謝して……そして、ご提案

過日の9月12日『IM』の開催を無事終了する事が出来ました。これも偏に石川会長をはじめクラブ会員全員の皆様のご協力のお蔭とっております。米山AGを輩出し『IM』開催の機会を当クラブが頂いた訳ですので、近年にない『IM』を開催したいと実行委員会の皆様と共に企画をさせて頂き、実行させて頂きました。

しかし、今回の『IMのフォーラム』での問題提起が早々に第四分区内や地区で繁栄されるとは考えておりません。また、どの様に評価されているかもわかりません。講演者及びパネリストの皆様には沢山のご発言及びご提案をして頂いた訳ですが結果が残せない事となれば、実行委員長として誠に申し訳なく思います。

そこで私は、今後より充実した『IM』を開催するにあたり次の事をご提案します。分区内のパストガバナーと歴代アシスタントガバナー及び分区内RCの代表者で協議し3年～5年のスパンで、もっとも重要であり緊急性の高い『同一のテーマ』を決め『IM』を開催すると言う事です。当然ホストクラブは持ち回りです。『同一テーマ』で数年間『調査・分析・企画・行動・評価』を繰り返し1年ごとにステップアップを図る事により問題解決すると言う事です。またホストクラブから次のホストクラブへ結果を申し送る事でクラブ間（分区内）のコミュニケーションも高まります。このような事を今回、私は『IM』の開催を通して実感致しました。

『IM』の開催趣旨は皆様ご承知の通りですが現在のRCが置かれている現実と環境にギャップが生じてきている事を誰しもが感じていると思います。しかしRCの活動は単年度制を基本としていますので私の提案は不可能と思えます。

今回の『IM』開催では、またしても三条北RCが『予想以外のことをした』と言う（結果、評価は別として）イクパクトを第四分区内、10RCの皆様にご提供する事が出来たのではないかと自負しております。

IM実行委員長と言う大役の経験を与えて頂きました米山AGとクラブ会員全員の皆様に心から感謝申し上げます。

合掌